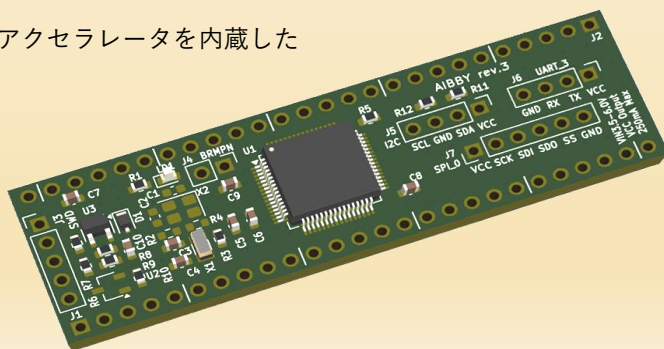


ROHM Solist-AIマイコン搭載 ブレークアウトボード

AIBBY

Arm Cortex-M0+コアに 3 層ニューラルネットワーク AI アクセラレータを内蔵した
「ROHM ML63Q2557」と動作に必要な周辺回路を搭載。

スリムな基板サイズでブレッドボードにも実装が可能。
エッジ AI の開発・プロトタイピングが素早く行えます。



Solist-AI とは

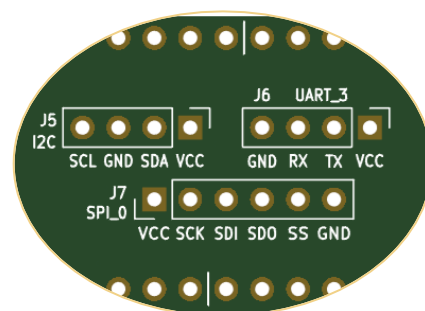
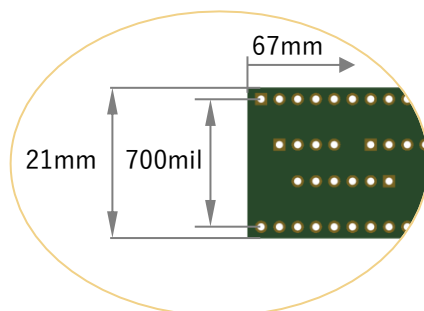
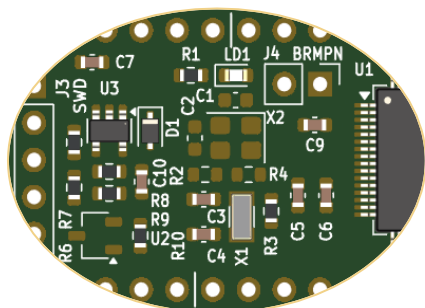
Solist-AI マイコンは、ELM(Extreme Learning Machine)を使った 3 層ニューラルネットワークや信号分析のための FFT 処理を、ローム独自のハードウェアアクセラレータ「AxICORE-ODL」を使って実行するマイコンです。マイコン単体で AI の学習と推論を実行可能で、エッジ AI ソリューションとして最適です。また、AxICORE-ODL アクセラレータは Arm コアとは独立して動作するので、プログラムの実行効率を大きく向上できます。

ここがポイント

3.3V LDO ・ 水晶発振回路
LED インジケータを搭載

スリムな基板サイズで
ブレッドボードを最大限に活用できる

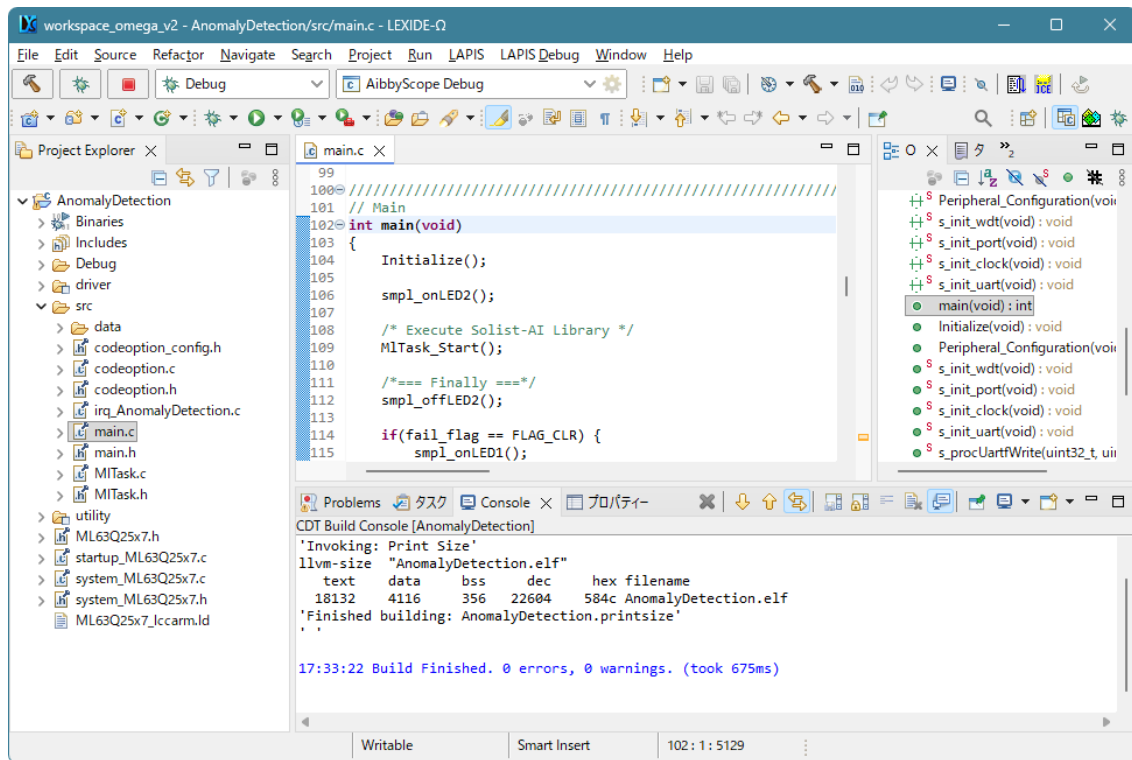
通信専用ポートは基板上に
2.5mm ピッチコネクタを実装可能



- CPU の GPIO は LED インジケータ以外の 48 本すべてを引き出し済
- 必要に応じてパワーオンリセット IC や CAN 用水晶発振回路も実装可能
- デバッガは Segger J-Link または WCH-LinkE エミュレータで動作確認済み
- 開発環境はローム株式会社のサイトから無料でダウンロード可能（本製品購入者に DL パスワードを配布）

プログラム開発環境 LEXIDE-Ω

開発環境ソフトはローム株式会社のサイトより無料でダウンロードできる「LEXIDE-Ω」と「ML63Q2500 シリーズリファレンスソフトウェア」を使用し、設計・コーディング・評価・ROM コード書き込みまで一貫して実行可能です。デバッガは Segger J-Link または WCH-LinkE エミュレータで動作確認済みです。



ROHM ML63Q2557 プロセッサの概要

■Arm Cortex-M0+ ■クロック32kHz~48MHz ■ROM 256KB ■データFLASH 8KB ■RAM 16KB ■GPIO×49 ■外部INT×8
■Solist-AIアクセラレータ ■タイマー×14 ■UART×4 ■SPI×2 ■I2C×1 ■CAN×1 ■ADC×2 ■アナログコンパレータ×3
■3相モータ制御PWM×1 ■DMA×2 ■CRC×1 ■VLS×1

製品仕様

推奨電源電圧 2.4V~5.5V、本体消費電流 約0.1mA~14mA、I/O電圧 3.3V、周囲温度 -20℃~60℃(結露しない事)
同梱物 ■AIBBY基板 ■ヘッダピン(32ピン×2個) ■クイックスタートガイド

※クイックスタートガイドにはローム株式会社のWebサイトから開発環境ソフトをダウンロードするためのパスワードを記載しています。

MyRohmサイトでユーザー登録いただいた後にパスワードを入力することで開発環境を入手できます。

URL : <https://www.rohm.co.jp/login>

企画・開発・お問い合わせ先

株式会社データ・テクノ

〒600-8898 京都市下京区西七条東御前田町 48 番地

Tel (075)313-3275

<https://www.datatecno.co.jp/>



本カタログは商標を示す®や™を表記しておりません。
本カタログに記載している製品、会社名は各社の商標または登録商標です。